

発行所
伊那市荒井
3500-1-401
上伊那教育会館内
長野県教職員組合
上伊那支部
編集発行人
田中 達也

上伊那支部情報紙

令和7年
2月10日
第9号
職場掲示

支部ホームページ

上伊那支部

検索



共に学び合う 研究会Ⅱ



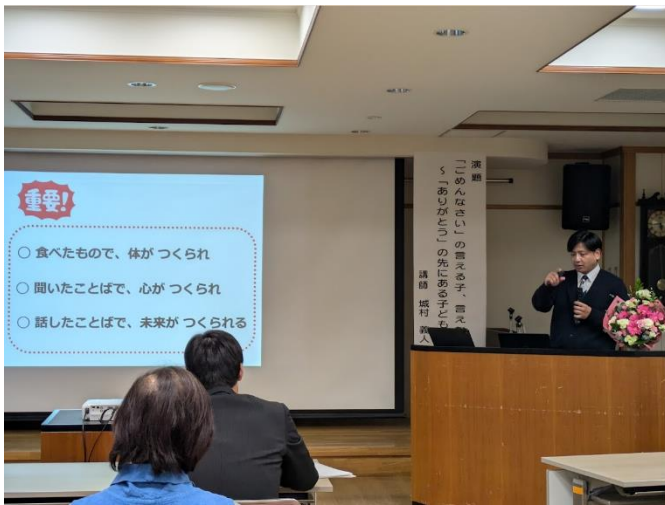
令和6年10月12日(土)に研究会Ⅱが行われました。上伊那で大切にされてきた研究会Ⅱでは、授業だけにとらわれず教師自身が様々なことを学び、教養を高めるために多くの講座が開設されました。特技を生かして講師を務めてくださった先生方もいらっしゃいますし、専門家を講師にお招きして開かれた講座もあります。たくさんの学びのある会になりました。

上伊那教育講演会

11月8日（金）には、上伊那教育講演会として、牧師で現在県PTA連合会の会長をされている城村義人さんに『ごめんなさい』の言える子、言えない子～『ありがとう』の先にある子どもたちの未来』という演題で講演をいただきました。城村さんご自身がこれまで保護司として出会ってきた子どもとどう向き合ってきたのか、ご自分のお子さんが思春期を迎える中でどのように接してきたのかをお話いただきました。子どもたちにどのようにして愛を伝えるのかを、城村さんのお言葉から考えさせられる講演となりました。



講師：城村義人さん



講演の様子



参加者での意見交換

参加者の感想

初めて、城村さんのお話をお聞きしました。これまで新卒で上伊那に赴任して3年目。様々な講演会に参加させていただいてきましたが、初めてメモが足りなくなるほど、濃密な時間を過ごさせていただきました。これまでのご自身の経験が、また多くの事情を抱えた人々との関わりが心の芯にあるからこそ、言葉に重みを感じさせていただいたというか、ものすごく勉強させていただきました。はっとさせられるようなお言葉が多く、とても書き切れませんが、特に印象に残っているのは「ゴールは遠くに」です。子どもたちとの関わりやこれからのことを考えたときに、クラスとして、学年として残された期間をどのように過ごしていくか考えていく際に参考にさせていただきたいと感じました。今の関わってくれている子たちは、初任で赴任したときの3年生をずっと持ち上げ、5年生となっている子たちです。これからの教員人生で差をつけるわけはありませんが、どうしても記憶に残り、そしてずっと応援し続けたいと思っている子たち。彼らが成人式を迎えるとき、一緒にお酒を飲もうと彼らが3年生のときからずっとみんなにも言っていました。もっと遠くにというところが今のところ浮かびませんが、城村さんの人生観から学び、考え方一つで、少し生き方が楽になるなと思いました。次のご講演もぜひ、お聞きしたいです。ありがとうございました。

教員ではない立場で、子どもたちの私生活により入り込んだ位置で子どもたちと接する城村さんのお話から今日の前にいる子どもたちとの接し方を改めて考えることができました。

研究会Ⅱ、上伊那教育講演会ともに先生方と多くのことを学ぶ有意義な会となりました。